

6 - 7 1988年7月29日伊予灘の地震について

On the Earthquake in Iyo-Nada, July 29, 1988

大阪管区气象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

1988年7月29日18時59分頃、愛媛県にごく近い伊予灘（北緯33°39.0′，東経132°31.9′，深さ58km，発震時18時59分32.6秒）で、マグニチュード5.0の地震*が発生した。最大震度は松山・呉の3で、被害は無かった。第1図はこの地震の震度分布図である。また第2図は、大阪管区气象台で決定したメカニズムである。データが少なく、確かな事は言えない。

この付近は、フィリピン海プレートのもぐり込みに伴い、比較的地震活動の活発な所である（第3図）。また第4図の時系列からもわかるように、1926年以降、1960年前後を除けば今回程度の地震は、ほぼ定常的に発生している。

伊予灘から佐田岬半島周辺の地震活動は、今年に入りやや活発化し、7月までに10個の有感地震を含む活動があった（第5図）。第6図はL - ADESSが整備され、震源精度が良くなった1985年1月～1987年12月までの震央分布図である。第5図と比較すると、今回の地震を含む今年の活動は、第6図の地震の少ない地域を埋め合わせるようにして発生したものと考えられる。

注：*は震源要素が暫定であることを意味する。

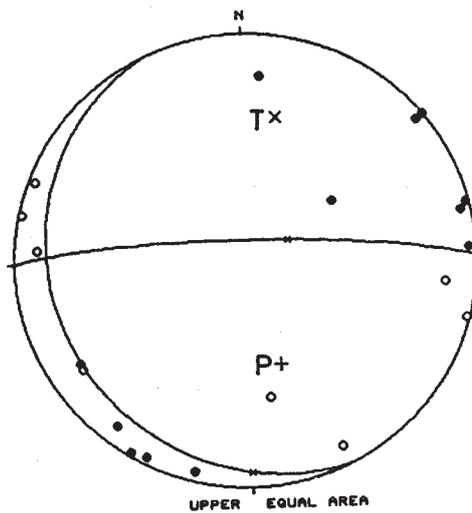


第1図 1988年7月29日伊予灘の地震 (M5.0) の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake in Iyo-Nada, July 29, 1988 (M5.0).

メカニズム解

(上半球投影)

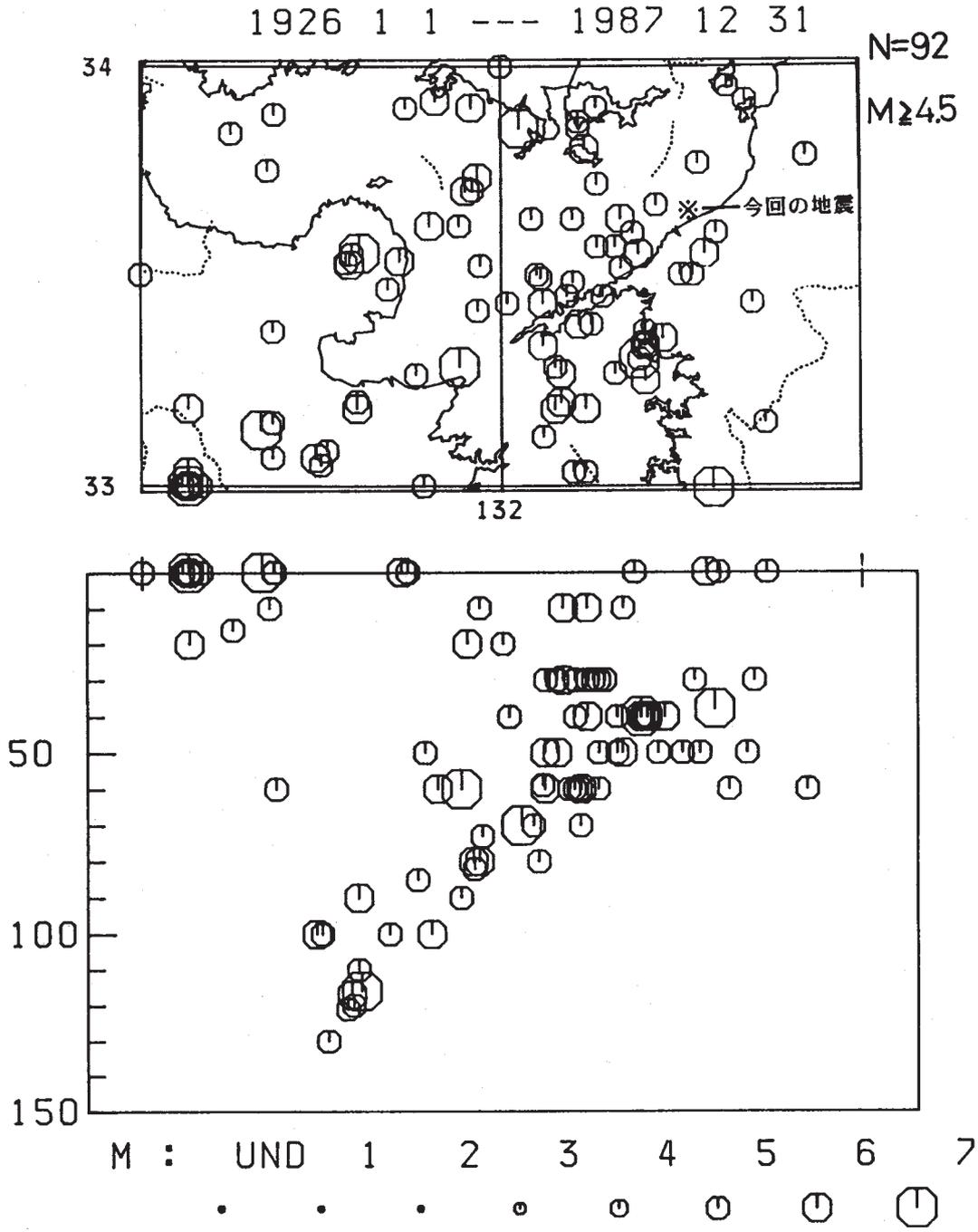


第2図 1988年7月29日伊予灘の地震の発震機構

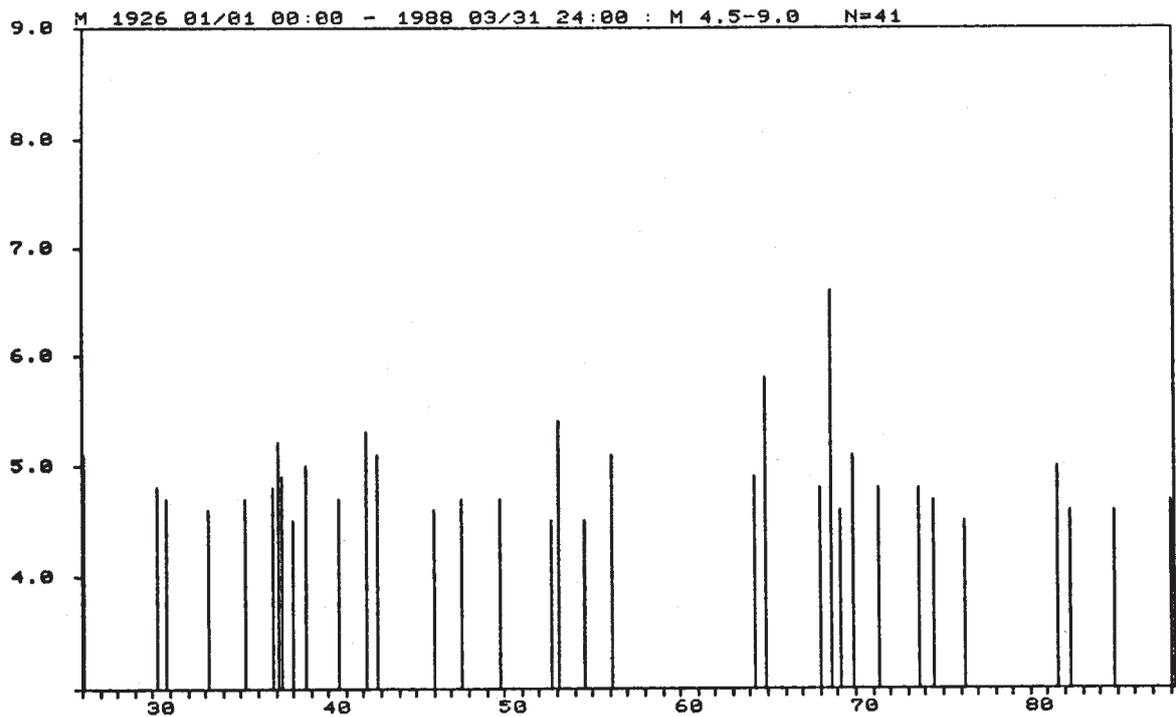
● : 押し, ○ : 引き

Fig. 2 Focal mechanism of the earthquake in Iyo-Nada, July 29, 1988 (projected on the upper hemisphere).

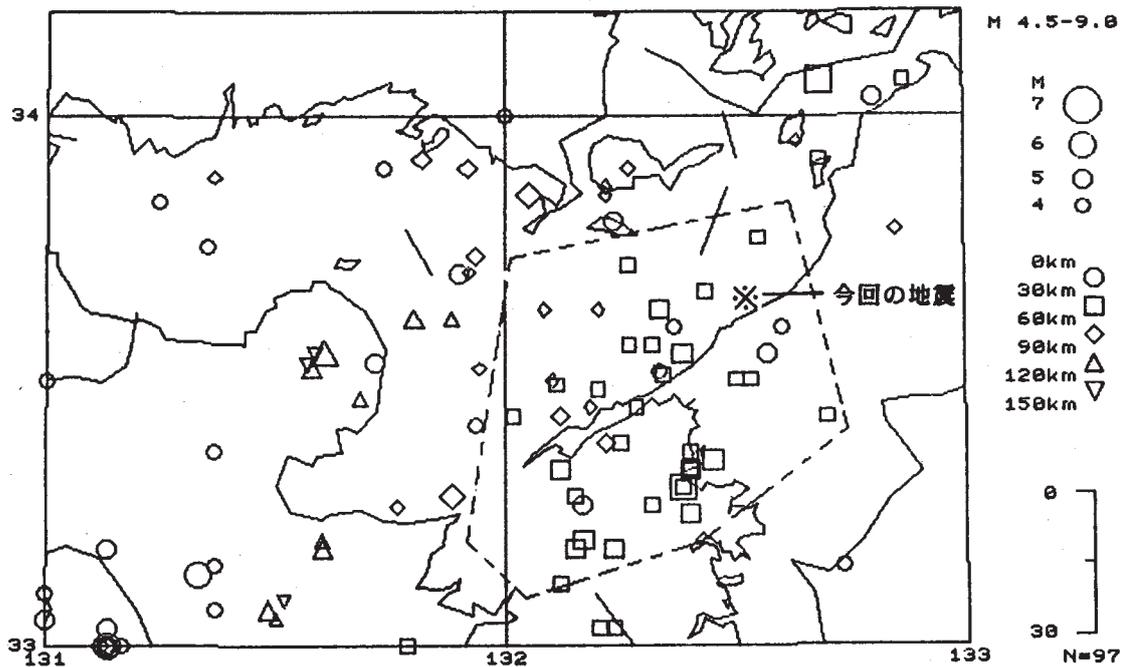
● : up, ○ : down.



第3図 伊予灘とその周辺の地震活動 (1926年~1987年)・M4.5以上
 Fig. 3 Distribution of earthquakes with magnitude larger than 4.5 in and near Iyo-Nada, 1926-1987.



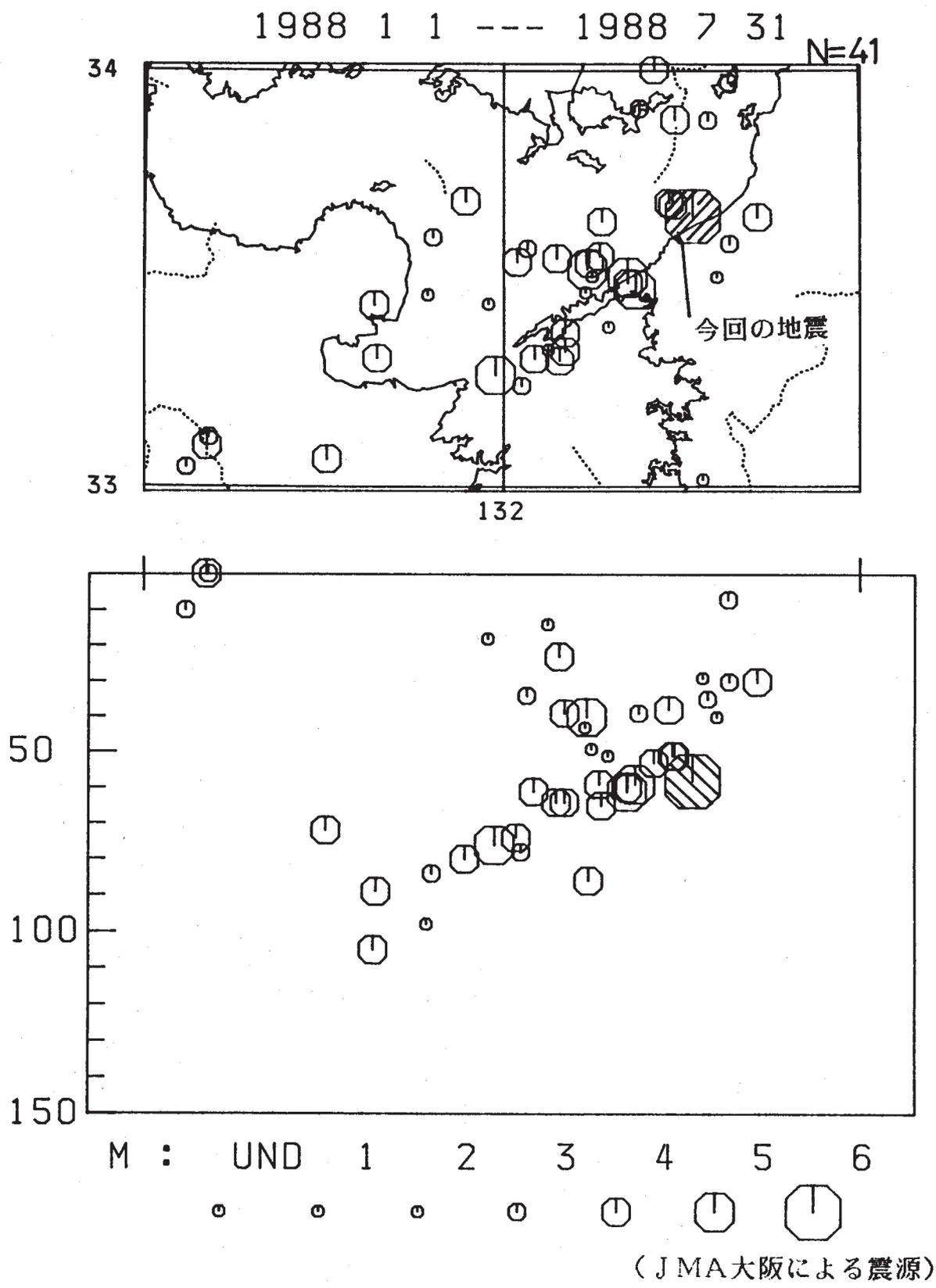
1926 01/01 00:00 -- 1988 03/31 24:00



(SEIS-PCによる)

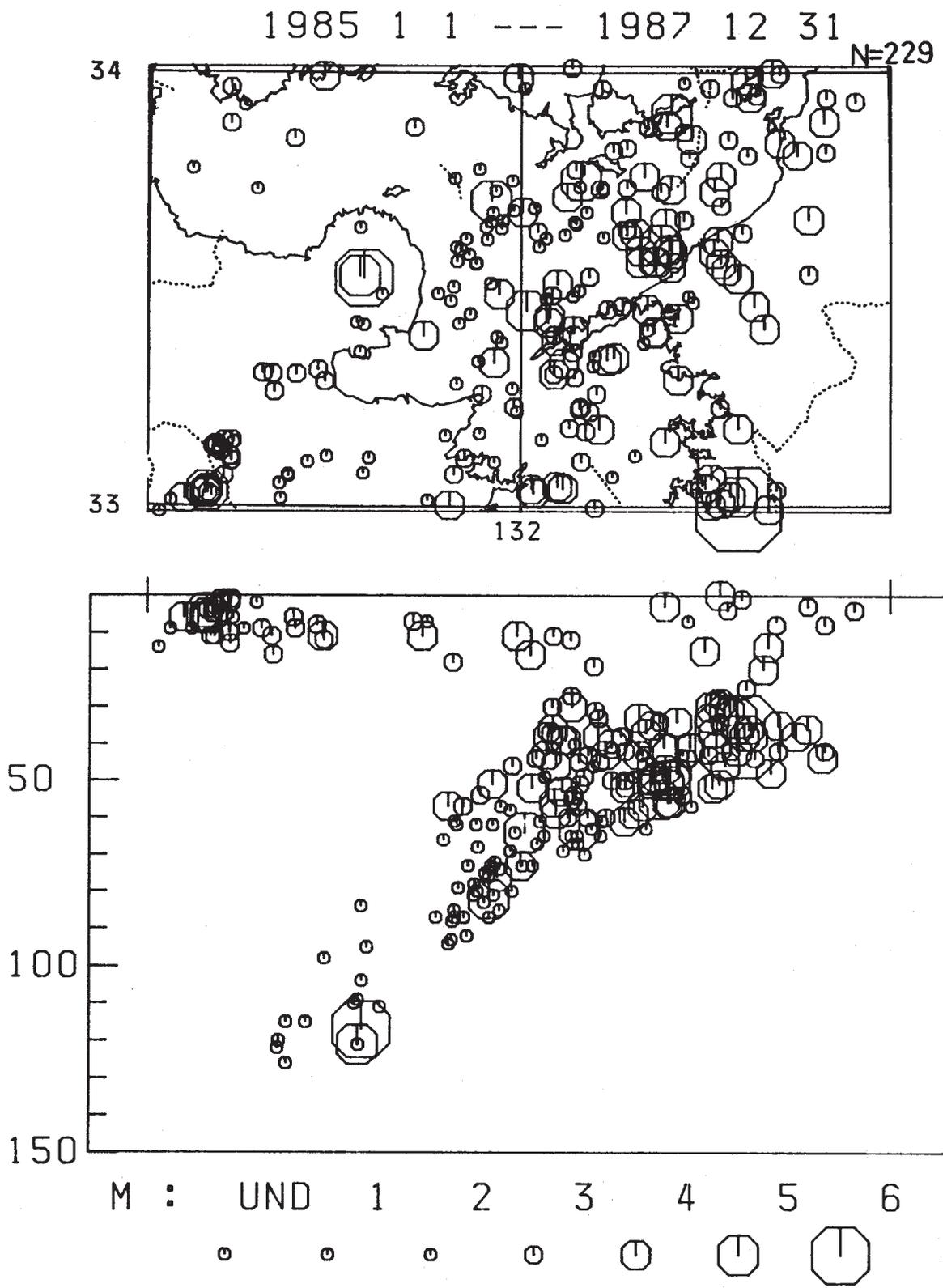
第4図 伊予灘周辺に発生した地震のM-Tプロット(破線内の地震に限る)
1926年1月~1988年3月

Fig. 4 Magnitude-Time plot for earthquakes (encircled by broken lines) in and near Iyo-Nada, January, 1926 - March, 1988.



第5図 伊予灘周辺の震央分布とその断面 (1988年1月~7月)

Fig. 5 Distribution of epicenters and their cross section in and near Iyo-Nada, January - July, 1988.



第6図 伊予灘周辺の震央分布とその断面 (1985年～1987年)

Fig. 6 Distribution of epicenters and their cross section in and near Iyo-Nada, 1985-1987.